

——『啼^なかなくていいホトトギス』小林正観著より——

「人生つまらない。何をやってもつまらない。何をしても楽しくない。楽しいことなんか何一つない。だから死んじやいたい」と相談に来た人がいました。

私はそこで、「今まで投げかけをしてきましたか」と聞きました。

これは今までに何人か同じような人がいたわけですが、いつも同じ質問をします。

「投げかけをしてきましたか」

その人たちの答えはすべて同じものでした。えっ、と言うのです。

「投げかけって何ですか」。それが共通の答えでした。

「投げかけたことはないのですね」

「投げかけなんてわかりません。どういう意味ですか」そこからすべての話が始まりました。

笑顔を投稿かけた人は、倍の笑顔に囲まれます。

不機嫌を投稿かけてきた人は、倍の不機嫌に囲まれることになります。

何も投げかけてこなかった人は、何も返ってきません。

やさしさをたくさん投げかけた人は、たくさんのやさしさに囲まれます。

温かいものをたくさんまわりに振りまいてきた人は、温かいものに囲まれることになります。

投げかけたものに自分が囲まれるのです。

ここのところをずっと考えていくと、最終的には自分のためだということに気がつきます。

世の中に喜ばれるように生きる。

まわりの友人たちに喜ばれるように生きる。笑顔を投稿かける。

なるべく不機嫌を投稿かけないというように生きていくことが、人格者として理想的な生き方としての話ではなくて、自分自身の損得勘定であるということに気がつきます。

本当に損得がわかった人は、自分の人生を考える、つくり上げる上で、それが一番得だということがわかります。

笑顔を投稿かけたほうが得なのです。自分にとって同じような笑顔に囲まれるのですから。

やさしさを投げかけたほうが得なのです。やさしさに囲まれるようになるのですから。

温かさに囲まれることになるのですから。

そういうものを理解し実践をしていくと、人生がどんどんラクで楽しいものになります。

そういう意味で自分の人生をつくり上げることができます。

ただ、夢や希望を言って「神様、思うように叶えてください」と言うのは、この生き方と違いません。夢や希望をぶつけるということは、今の生活が気に入らない。もっと何とかしろ。

もっともっとほしい。もっと手に入れたいということにほかならないからです。

笑顔を投稿かける。今、幸せであるという言葉や概念を投稿かける。

それをまわりの人にたくさん示していく。

その結果として、その人は、まわりに笑顔ややさしさに囲まれることになります。

